

一人当たりの市税負担額

市税85億1,068万円 ÷ 市民54,922人 = **154,959円**

税目	1人当たりの市税額(単位:円)
市民税	67,597
(内法人)	14,554
固定資産税	77,495
市たばこ税	6,935
軽自動車税	2,932
鋳産税	1

平成29年度歳入歳出について、市税収入は、景気の緩やかな回復基調を受け緩やかに回復しているものの、歳出では、扶助費、公債費等の増加が著しく、財政の硬直化が慢性化しています。引き続き、人件費、物件費、補助費等の支出を抑える行政改革を進めつつ、必要な財源確保のための基金の取り崩しや地方債の発行は最少限に抑え、着実なまちづくりを進めていきます。

一人当たりの支出額

一般会計歳出

215億6,564万円 ÷ 市民54,922人 = **392,659円**

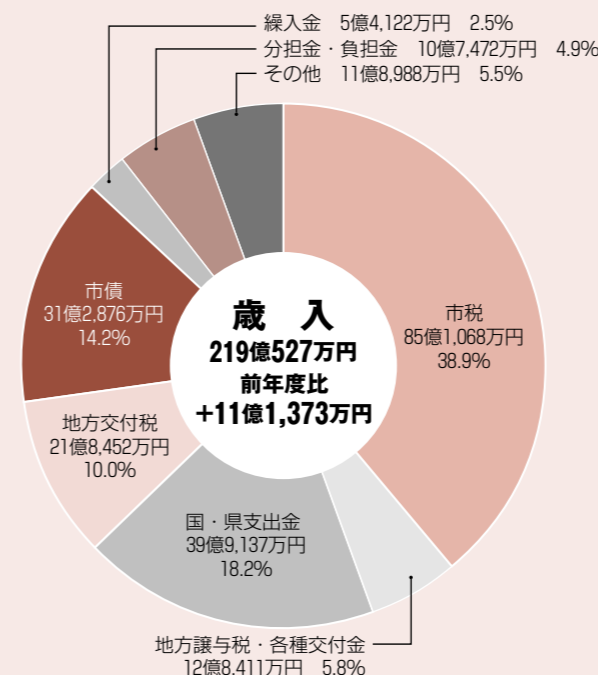
第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	一般会計歳出総額
民生費	教育費	公債費	土木費	総務費	衛生費	消防費	農林水産業費	その他(議会費・商工費など)	
134,417円	51,247円	51,141円	43,248円	39,725円	29,825円	13,580円	10,096円	19,380円	392,659円

※人口は平成30年1月1日現在

湖南省のお財布

平成29年度 財政状況

固財政課(東庁舎) ☎71・2317 ☎72・3390

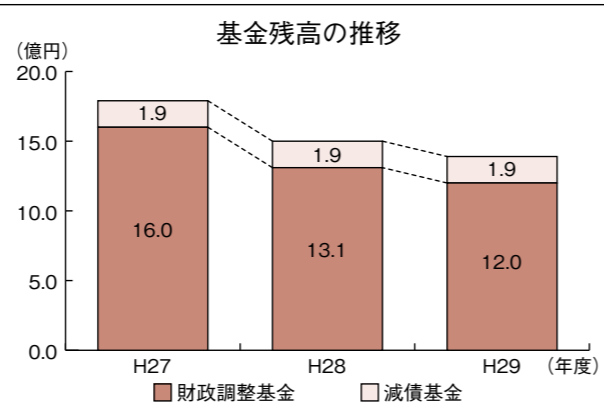


歳入 用語解説

- 市税** 市民税や固定資産税など
- 地方譲与税・各種交付金** 自動車重量譲与税、地方消費税交付金など
- 国・県支出金** 国・県が必要と認めた事業に対するの交付金など
- 地方交付税** 市の財政状況に応じた国からの交付金
- 市債** 国や金融機関からの借入金
- 分担金・負担金** 保育料、学校給食費負担金など

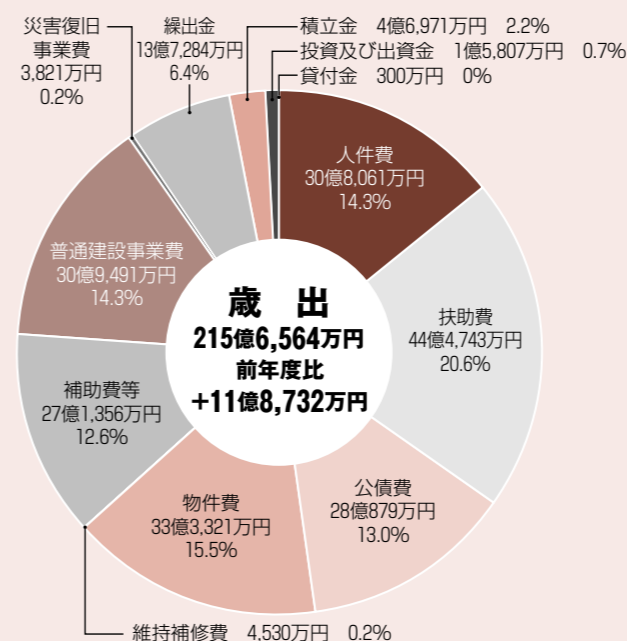
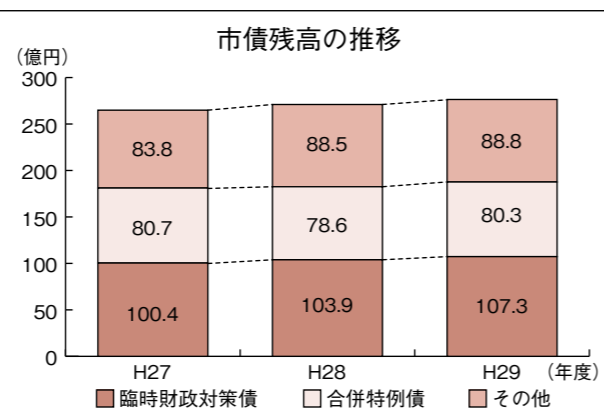
市の貯金や借金はどうなっているの？

家庭の貯金にあたるものが基金になります。平成29年度末の財政運営のための基金(財政調整基金、減債基金)の残高は13.9億円です。この基金は、経済情勢の変化による年間の収支の変動に対応し、安定的な財政運営のために必要になります。平成25年以降、残高は少しずつ減っているため、今後も適正な水準の確保に努めます。



歳入から歳出を引いた3億3,963万円を30年度に繰越し、そのうち2億円を貯金しました。ただ基金も取り崩しているため、予断を許さない財政状況です。

市債は、学校や道路など長期にわたり使うものの建設のために、国や銀行などから借入れる市の借金です。また市債は、現在の納税者と将来の納税者との間の負担の公平を図るという機能も併せ持っています。現在の市債残高を平成27年度と比較すると11.5億円(+4.3%)増加しています。



歳出 用語解説

- 義務的経費**
 - 人件費** 職員の給与、議員や委員の報酬など
 - 扶助費** 障がい者や高齢者福祉、生活保護など
 - 公債費** 借入金の返済
- 消費的経費**
 - 物件費** 各種事業の運営にかかる事務経費など
 - 補助費等** 団体運営や事業などに対する補助金や負担金など
- その他**
 - 繰入金** 特別会計に対する財政的支援としての支払金

湖南省の財政指標

<p>一般会計を中心とした赤字の割合</p> <p>実質赤字比率</p> <p>平成27年度 赤字なし 平成28年度 赤字なし</p> <p>平成29年度 赤字なし</p> <p>早期健全化基準 13.03%</p>	<p>全ての会計を合わせた赤字の割合</p> <p>連結実質赤字比率</p> <p>平成27年度 赤字なし 平成28年度 赤字なし</p> <p>平成29年度 赤字なし</p> <p>早期健全化基準 18.03%</p>
<p>年間借金返済額の割合</p> <p>実質公債費比率</p> <p>平成27年度 11.5% 平成28年度 10.6%</p> <p>平成29年度 9.7% 早期健全化基準 25%</p>	<p>将来負担が見込まれる借金の割合</p> <p>将来負担率</p> <p>平成27年度 66.8% 平成28年度 64.6%</p> <p>平成29年度 62.9% 早期健全化基準 350%</p>
<p>標準的な行政サービスを行うための お金を自らまかなえている割合</p> <p>財政力指数</p> <p>平成27年度 0.867 平成28年度 0.855</p> <p>平成29年度 0.839</p> <p>(平成29年度県内平均 0.730)</p> <p>比率が高いほど、財布に余裕があるとされています。</p>	<p>人件費や福祉の費用など毎年必ずかかる経費が、 市税など自由に使える収入に占める割合</p> <p>経常収支比率</p> <p>平成27年度 94.7% 平成28年度 92.4%</p> <p>平成29年度 93.1%</p> <p>(平成29年度県内平均 91.2%)</p> <p>比率が低いほど自由に使えるお金が多いことになります。</p>

※早期健全化基準を上回ると改善計画を作らなければなりません。

平成29年度決算額・平成30年度上半期各会計予算執行状況

	一般会計	特別会計			
		国民健康保険 特別会計	国民健康保険 診療所特別会計	後期高齢者 医療特別会計	介護保険 特別会計
平成29年度					
歳入決算額	219億527万円	58億6,016万円	5億1,958万円	4億7,985万円	30億4,638万円
歳出決算額	215億6,564万円	56億5,092万円	5億221万円	4億6,879万円	29億9,106万円
差引額	3億3,963万円	2億924万円	1,737万円	1,106万円	5,532万円
平成30年度					
予算額	213億2,028万円	51億1,021万円	6億1,016万円	8億7,713万円	31億7,261万円
収入済額	89億5,851万円	18億9,199万円	1億8,429万円	3億6,533万円	14億7,726万円
収入率	42.0%	35.4%	30.2%	41.7%	46.6%
執行済額	85億4,583万円	17億3,986万円	1億7,946万円	3億9,229万円	12億9,043万円
執行率	40.1%	34.0%	29.4%	44.7%	40.7%

	企業会計				
	水道事業会計		下水道事業会計		訪問看護ステーション 事業特別会計
	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支	
平成29年度					
歳入決算額	15億1,866万円	4億5,732万円	17億8,429万円	8億7,085万円	4,976万円
歳出決算額	14億1,925万円	6億7,108万円	17億3,594万円	15億7,186万円	4,876万円
差引額	9,941万円	▲2億1,376万円	4,835万円	▲7億101万円	100万円
平成30年度					
予算額	収入 15億3,532万円 支出 15億528万円	収入 5億2,071万円 支出 7億593万円	収入 17億2,371万円 支出 17億4,638万円	収入 10億9,176万円 支出 17億47万円	6,066万円
収入済額	5億6,580万円	1,950万円	8億744万円	2億9,829万円	2,583万円
収入率	36.9%	3.7%	46.8%	27.3%	42.6%
執行済額	4億6,556万円	1億8,872万円	3億1,974万円	7億2,666万円	2,493万円
執行率	30.9%	26.7%	18.3%	42.7%	41.1%

湖南省の収入と支出を家計に例えると？

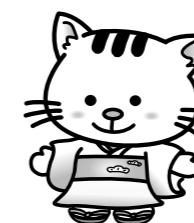
湖南省の平成29年度の収入219億527万円を家計に例えてみました。

収入		支出	
給与等収入 【市税・地方交付税・交付金等】	3,064,000円 (255,300円)	食費 【人件費】	788,000円 (65,700円)
売電収入・地代 【使用料・負担金分担金等】	473,000円 (39,500円)	医療費 【扶助費】	1,137,000円 (94,800円)
親からの仕送り 【国県支出金】	1,021,000円 (85,100円)	衣服代・光熱水費 【物件費】	852,000円 (71,000円)
借入（住宅・学資） 【市債】	800,000円 (66,700円)	家の改修、家電の買替 【普通建設事業費等】	814,000円 (67,800円)
貯金の取崩し 【繰入金】	138,000円 (11,500円)	子どもの学費・仕送り 【繰出金・補助費等】	1,085,000円 (90,500円)
前年の繰越 【繰越金】	106,000円 (8,800円)	借入の返済 【公債費】	718,000円 (59,900円)
収入合計	5,602,000円 (466,900円)	貯金 【積立金】	120,000円 (10,000円)
借入残高	7,069,000円	支出合計	5,514,000円 (459,700円)
		貯金残高	356,000円

※下段にある（ ）内の金額は、月単位での金額です。
※厚生労働省の平成29年国民生活基礎調査における1世帯あたり平均所得金額560万2千円を参考に計算しています。

給与等収入は一定あるけど、親からの仕送りや借入金などに支えられているニャン。

貯金の取り崩しも限りがあるので、計画的に生活しなければならぬニャン。



食費や医療費、借金の返済の3つは、基本的に支払わないといけないお金だから、これら3つの支出が多いと、家計に余裕がなくなるぞん。

子どもの学費・仕送りの支出が多いぞん。



これからも何かあった時のために貯金をしておくことが大切です